

## SDGs 未来都市東広島推進パートナー宣言書

企業・団体名 株式会社 Hakobune

代表者名 高橋 雅典

東広島市における活動等を通じて、次のとおりSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することを宣言します。

## 1 関係するSDGs目標（ゴール）（番号に○を付けてください。複数選択可）

1		貧困をなくそう	2		飢餓をゼロに
3		すべての人に健康と福祉を	4		質の高い教育をみんなに
5		ジェンダー平等を実現しよう	6		安全な水とトイレを世界中に
⑦		エネルギーをみんなに そしてクリーンに	⑧		働きがいも経済成長も
⑨		産業と技術革新の基盤を つくろう	⑩		人や国の不平等をなくそう
⑪		住み続けられるまちづくり を	⑫		つくる責任 つかう責任
⑬		気候変動に具体的な対策を	14		海の豊かさを守ろう
15		陸の豊かさも守ろう	16		平和と公正をすべての人に
17		パートナーシップで目標を 達成しよう			

## 2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

株式会社 Hakobune は、2023年4月、住友商事の出資によって創業以来、企業&従業員向けEV（電気自動車）サブスクサービス「Hakobune」を提供しています。日本で通勤に車を使う人数は、日本全国に約2751万人（※）。Hakobuneは、この「通勤用車両のEV化」に目を付け、日本におけるEVの普及と脱炭素社会に貢献しようとしています。

※統計局ホームページ/IV 利用交通手段 (stat.go.jp)

昨年の新車販売台数が2%に届かない日本のEV。その普及のためには、乗り越えなくてはならないハードルがいくつかありますが、Hakobuneはそのハードルを乗り越えるための仕組みを、サービスとして提供しています。

ハードの一つ目は、充電問題です。

「充電場所が少ない」、「充電にかかる時間が長い」などが具体的な懸念点ですが、通勤用車両であれば、職場に充電環境を整えることで多くの問題が解決します。Hakobuneでは、EVの充電設置に関わるご支援も、セットでご提案します。働く場所に充電環境さ

えあれば、業務時間を車の充電時間にあてられるため、充電時間も不安がありません。

ハードルの二つ目は、価格です。

Hakobune は、定額料金にて EV を提供するサービスです。職場充電器の設置費用をのぞけば、EV 車両に係る様々な費用は、全て定額料金となります。EV に限らず、車は購入単価が高く、保険料などの負担がありますが、Hakobune はそのすべてが定額費用となります。

以上のようなハードルを乗り越えながら、「走る蓄電池」として EV をとらえることで、新たな電力源として地域社会で貢献することも EV の特長として、大きく SDG s に貢献できると考えています。

また広島エリアでは、広島大学スマートシティ共創コンソーシアム（以下、共創コンソーシアム）※に、Hakobune も参画企業の一社として参加いたしました。共創コンソーシアムからのご提案によって、広

島大学に勤める教員の皆様にも、Hakobune 経由で EV をご活用いただくことが決定しています。今後も、これらの取り組みを皮切りに、広島県における脱炭素の取組みに貢献できるよう、通勤車両の EV 化を推進してまいります。

参考：[広島大学スマートシティ共創コンソーシアム | Town & Gown Office \(hiroshima-u.ac.jp\)](https://hiroshima-u.ac.jp)

[「通勤用 EV サブスク制度」が開始されました!【広島大学教職員限定】 | Town & Gown Office \(hiroshima-u.ac.jp\)](https://hiroshima-u.ac.jp)

広島大学スマートシティ共創コンソーシアム※とは

持続可能な未来のビジョンを共有する東広島市と広島大学が包括的、日常的、継続的、組織的な関係を構築の上、東広島市の行政資源と広島大学の教育・研究資源を融合しながら活用することで地方創生を実現し、持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指す東広島市・広島大学 Town & Gown 構想の実現に向けて「広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」（以下、「共創コンソーシアム」という）を令和 4 年 3 月 18 日に設置。

※ 持続可能な開発目標（SDG s）の達成に向けて、どのような活動を実施するか、また、その活動が 1 で選択したゴールの達成にどう貢献するかなどについて記載してください。